

栄冠めざして 北米版

「海外でやっておきたい帰国生大学入試対策」2012 Vol.1 (2012年1月発行)

将来の進路について考え、決定しよう!

帰国生大学入試に必要な力とは？

帰国生大学入試を突破するために求められている力は、英語での学力+日本語での学力と表現力です。

帰国生大学入試の書類審査では現地校の成績が参考にされますし、中には国家統一試験の結果を求める大学もあります。国家統一試験はアメリカではTOEFLやSAT、ACTが該当します。カナダでは現地校の大学進学コースの単位がそれに当たります。つまり、現地校で培った英語での学力が必要なのです。次に入試科目を見ると、文科系では英語・小論文・面接、理科系では数学・理科・英語・小論文・面接というパターンが主流です。英語の出題傾向を見ると、TOEFL形式が目立ちます。つまり、TOEFLで高得点の取れるような英語力が必要なのです。一方で、一般入試と同一問題を課す大学もあります。その場合には、日本の高校英語の学習も必要です。

理科系で課される数学・理科は、日本の高校で学習している科目(数学はⅠ・A、Ⅱ・B、Ⅲ・C、理科は物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱが該当します。)です。一般入試よりやさしい出題をする大学もありますが、同一問題を使用する大学もあります。出題の難度に関わらず、用語や解法の違いに慣れる必要があるのはもちろんですし、現地校では学習しない内容を新たに学習する必要があるのです。それは、日本の高校の履修内容が現地校を上回っているからです。理科系を目指す受験生は早めに日本の高校の教科書や参考書に目を通しておくとよいでしょう。

小論文と面接対策の第一歩は知識の蓄積から

小論文は大学・学部によって出題傾向は様々ですが、大きく分けるとテーマ型と課題文型、そしてデータ型があります。テーマ型は「〇〇について自分の考えを述べなさい。」というように与えられた課題について自分の意見を論ずるものです。課題文型は文章(論説文が多い)を読んで、与えられた設問に答えるものです。設問には要旨や筆者の意見をまとめるものもありますが、自分の意見を論ずるものも必ず含まれます。データ型ではグラフや図表を読み取って傾向を分析したり、自分の意見を論じたりします。

一方で課題の内容を見ると、最近社会で起こった出来事に関するものと学部や学科の専門分野に関するものがあります。大学・学部によって出題形式や内容の特徴がありますが、特徴の異なる大学を併願受験する必要もあり

ますし、突然傾向が変わることもありますので、あらゆるパターンに対応できる実力を身につける必要があります。

小論文では、自分の意見を論ずるための知識をより多く蓄積することが大切です。まずは、日常的に起こっている社会の出来事をテレビや新聞、インターネットなどでキャッチするとよいでしょう。また、志望学部・学科に関連する専門領域に関する最新情報をキャッチしたり、書籍を読んだりすることも大切です。課題文型に必要な読解力を身につけるために、新聞の社説や論説文を読む習慣を持つのもよいでしょう。現代文の問題集を解いたり、漢字の学習を通じて語彙を増やしたりすることもお勧めします。

面接も帰国生入試においては重要な1科目です。多種多様な質問に対し、分かりやすく説明できる力が求められます。大学や学部への志望動機、入学後学びたいことや将来の進路、滞在国や地域のこと、高校時代の活動などがよく聞かれる質問ですが、この他にも最近起こった日本のできごとや国際情勢などの時事問題、受験学部・学科の専門領域に関連したニュースや知識を問われたり、数学や理科の問題が課されたりするケースもあります。

小論文にも面接にも共通して求められるのは、自分の意見を述べることです。その意見は試験官に「ぜひ私の大学・学部に入學してほしい。」と思ってもらえるようなものでなければなりません。そのためには、受験する大学や学部のことを十分に理解し、興味や関心を持ち、入学後に学ぶために必要な知識を身につける必要があります。また、吸収した知識を基に自分独自の意見を考える練習を積み重ねることが大切です。これは、一朝一夕でできることではありません。日常的な努力の積み重ねが必要です。

目標に向かってがんばろう!

ここまで帰国生大学入試の受験対策について述べてきましたが、受験勉強というのは決して楽しいものではありません。しかし、頂上を目指す登山のように、ゴールを目指すマラソンのように、目標があれば辛くても我慢できるでしょう。つまり、大学入試においては、この大学に入りたいとかこの学部で勉強して将来はこんな仕事がしたいというような目標をしっかりと定めることが大切なのです。目標とする大学・学部が決まれば、合格のための学習の方向、つまりどのような受験対策をするべきかということも見えてくるはずですよ。

受験生の皆さん、目標に向かってがんばりましょう!

(河合塾北米事務所 アドバイザー 丹羽 筆人)

Information from Kawaijuku

進学講演会が終了！

河合塾海外帰国生コースでは、10月下旬から12月上旬にかけて北米の17都市にて「帰国生大学入試進学講演会」を開催し、帰国生大学入試の現状と対策についてレポートしました。各会場とも日本の大学進学をめざす熱心な高校生、中学生や保護者の皆様にお越しいただきました。ご参加いただきました方にはこの場を借りてお礼申し上げます。また、時間に限りがあり、個別のご質問には十分にお答えすることができませんでした。ご質問がありましたら、北米事務所にお問い合わせください。

一方で、残念ながらご参加いただけなかった方にも、できる限りの情報のご提供を差し上げます。講演会で配布した資料もご希望があればお送りさせていただきます。

入塾申し込み受付開始は2月1日から

2013年度入試をめざす受験生のための**大学受験科帰国生コース(2012年6月開講)**と2014年度入試受験予定の11年生を対象にした**一時帰国生コース夏期講習(2012年7月開講)**は、2012年2月1日(水)午前9時(日本時間)より受付開始です。インターネットでのお申し込みが便利です。詳しくは入塾案内パンフレットをご参照ください。お手元にお持ちでない場合は河合塾海外帰国生コースのホームページにてデジタルパンフレットをご覧になれます。

入塾審査および入塾資格確認

大学受験科帰国生コースには、2013年度海外帰国生大学入試の受験資格がある方ならば誰でも入塾できます。TOEFL、SATなどの統一試験のスコアは全員に提出いただきますが、入塾審査を行うのは医・歯・薬学部コース、東大・一橋大・京大コースのみです。また、このコースを受講するに当たって学力試験などを受験いただく必要はありません。

入塾金の各種割引制度

大学受験科帰国生コースでは入塾金として50,000円が必要ですが、割引制度がありますのでご案内します。

①一時帰国生コース(夏期講習・冬期講習)受講者⇒25,000円割引 ②2月1日から3月31日までにお申し込みした方⇒25,000円割引 ③兄弟姉妹が2010～2012年度の河合塾生の方⇒10,000円割引 ④補習校・学習塾の校長先生に推薦された方⇒10,000円割引

*①～④は組み合わせ可能です。ただし、上限は50,000円です。なお、④を希望する方は、入塾お申し込み前に所

属学校の校長先生のご署名をいただいた所定の申込書を北米事務所にお送りください。(申込書は12年生としてご登録の方にはE-mailにて配信しています。お持ちでない方は北米事務所にご請求ください。)

スカラシップ制度事前審査

大学受験科帰国生コースでは、成績優秀な受験生に対して授業料を減額する**スカラシップ(特待・奨学金授与)制度**を用意しています。アメリカの方はTOEFLとSATのスコアで、カナダ、メキシコなどの方は現地校の大学受験資格に相当する科目の成績にて審査をさせていただきます。ご希望の方は入塾申し込み時に申請ください。医・歯・薬学部コース、東大・一橋大・京大コース、早慶上智理科大学コースに入塾をお申し込みされ、学費を一括払いされる方が対象で、授業料を50,000円～200,000円減免します。(早慶上智理科大学コースの減免額の上限は50,000円です。)

入塾申込前に、認定の可否や減免額を審査する仕組みもありますので、北米事務所までお問い合わせください。

少人数クラスと個別指導が充実！

海外帰国生コースでは、すべての講座において1クラスの定員を最大25人と定めています。従って、講師が一人一人の生徒の学力を把握して授業を行っています。また、講師はフェローというマンツーマンの個別指導も担当しています。授業や自宅学習での質問や小論文の添削指導はもちろん、志望理由書や自己推薦書の書き方も指導します。受験指導はクラス担任が一人一人きめ細やかに対応します。他のクラスの担任もすべての生徒の名前を知っているというアットホームな雰囲気もあります。クラス担任は保護者とのコミュニケーションも大切にしており、定期的に塾生の様子をEメールにてお伝えしています。また、帰国生入試で合格した現役大学生がチューターとして学習相談や受験相談に対応しています。各コースの定員に限りがありますのでお早めにお申し込みください。

北米事務所へのお問い合わせ

北米事務所では、帰国生大学入試や河合塾入塾に関するお問い合わせやご相談を受け付けています。日米両国での指導経験のある進学アドバイザーが、きめ細かく対応させていただきます。このページの一番下に記載されている電話、Fax、E-mailなどの内、ご都合のよい方法でご連絡ください。なお、北米事務所はミシガン州にありますので、電話、Faxでのお問い合わせは東部標準時の午前9時から午後9時までお願いします。なお、外出、出張などのため電話には出られないこともありますので予めご了承ください。E-mailでのお問い合わせにはできる限り迅速に対応します。お問い合わせをお待ちしております。

河合塾 学校法人河合塾 海外帰国生コース 北米事務所

Kawaijuku Educational Institution, Returning Students Course, North America Office

41649 Blair Drive, Novi, MI 48377 Tel & Fax : 1-866-460-1023 E-mail : kikoku@ujec.org Website : www.kawai-juku.ac.jp/kikoku